

緊急調査報告 12月25日〆切分(11月11日との比較)

11月より12月の回答数が37社も増加したことは、いかに各社が関心が高く深刻であることを示しています。

今回の2回連続の緊急調査から読みとれる内容の中で、第1に特記すべきことは、(質問4)の11月中旬以降の金融機関の対応に変化が「1、ありました」が18%もの会員企業が融資に関して変化を体験されたことです。

その内容にある「これまで継続してきた融資を断られた」については『貸し剥がし』に該当すると考えられます。さらに、「信用保証協会付の融資へ切り替えられた」のも、実質『貸し剥がし』と思われる。

しかし、もっと重要なのは、「金利が下がった」とする企業が2社しかなく、本来ならば日銀の2度に渡る基準金利引き下げにより、貸出金利も連動して下がるはずですので、言い換えると、実質、貸出金利が上昇したと言う事になっていることになるからです。

つまり、この基準金利の引き下げは、中小企業向けの緊急経済対策ではなく、金融機関救済対策だといわれても否定できません。

また、(質問9)の不適切な対応に遭遇している会員企業が2社もあることが残念です。

そうは言っても、流石 同友会です。(質問15)で、以下のような政策提言も行なわれています。このなかの幾つかでも実現できると、現在の景気対策とすれば効果がありそうです。実現可能なものから要望していきます。

○ 政治・行政霞ヶ関の改革を断行して減税と各種負担の軽減と保障の拡充を図る。 ○ 担保やそれに代わるものの提供を求める制度は廃止。 ○ 事業後継者の有無や戦略の有無によっては、金利のみの支払いでも優良企業に認定して欲しい。 ○ 雇用対策として、農業・福祉分野への人材の流動化を図る。 ○ 小・中・高の校舎建て直し・耐震補強・アスベスト対策を行なう。 ○ 不動産売却の無税化。 ○ 特別会計と一般会計の一本化。 ○ 年金制度をしっかりと再構築する。 ○ 経営計画作成に対する融資の実現。

◆回答結果

対象人数	今回の回答(12/25〆切分)		前回の回答(11/11〆切分)	
	総投票人数	投票率	総回答数	
467	111	23.77%	74	15.85%

質問1: 所属支部を選択して下さい。

◆回答結果

選択肢	今回の回答(12/25〆切分)		前回の回答(11/11〆切分)	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1.城南	27	24.32%	26	35.14%
2.城北	25	22.52%	13	17.57%
3.新川	17	15.31%	6	8.11%
4.呉西	24	21.62%	20	27.03%
5.となみ野	17	15.31%	9	12.16%

質問2: 貴社の総従業員数(パート、アルバイト、派遣社員を含む)をお答え下さい。

◆回答結果

選択肢	今回の回答(12/25〆切分)		前回の回答(11/11〆切分)	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1.4人以下	18	16.21%	17	22.97%
2.5~9人	25	22.52%	21	28.38%
3.10~19人	17	15.31%	8	10.81%
4.20~29人	19	17.11%	7	9.46%
5.30~49人	18	16.21%	8	10.81%
6.50~99人	8	7.21%	7	9.46%
7.100人以上	6	5.41%	7	9.46%

質問3: 貴社の主要な業種をお答え下さい。(主なものを1つ選択)

◆回答結果

選択肢	今回の回答(12/25〆切分)		前回の回答(11/11〆切分)	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1.農林水産業・鉱業	0	0%	2	2.70%
2.建設業	31	27.92%	18	24.32%
3.製造業	26	23.42%	17	22.97%

4.情報・流通・商業	20	18.01%	16	21.62%
5.サービス業	34	30.63%	22	29.73%

質問4: 11月中旬以降、金融機関からの融資についての変化がありましたか。

◆回答結果	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
選択肢	回答数	回答率	回答数	回答率
1.ありました	20	18.01%	15	20.27%
2.ありません	67	60.36%	51	68.92%
3.分からない	24	21.62%	9	12.16%

質問5: 質問4:で「ありました」とした方にお尋ねします。具体的にどのようなことがありましたか。

◆回答結果	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
選択肢	回答数	回答率	回答数	回答率
1.これまで継続していた融資を断られた	2	7.69%	1	5.26%
2.新規の融資を断られた	0	0.00%	0	0.00%
3.保証協会への申込みを断られた	0	0.00%	2	10.53%
4.融資額を減額させられた	6	23.08%	2	10.53%
5.金利を上げられた	2	7.69%	2	10.53%
6.経営・財務内容を詳しく調べられた	6	23.08%	3	15.79%
7.追加担保を要請された	0	0.00%	2	10.53%
8.融資の担当者が頻繁に来社	2	7.69%	1	5.26%
9.金利が下がった	2	7.69%	1	5.26%
10.その他(具体的に)	6	23.08%	5	26.32%

- ・融資をお願いされた
- ・借入れがあれば積極的に受け入れた
いとの申し入れ
- ・新規の金融機関から融資の話が来た
- ・貸し付けの営業が増加
- ・無借金経営です
- ・信保協会付きの融資への切り替え

質問6: 現在、貴社では信用保証協会を利用していますか。

◆回答結果	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
選択肢	回答数	回答率	回答数	回答率
1.利用している	66	59.45%	49	66.22%
2.利用したことはない	29	26.12%	16	21.62%
3.過去に利用していた	16	14.41%	9	12.16%

質問7: 質問6:で「利用している」とした方にお尋ねします。(※「利用したことはない」「過去に利用していた」の方は、「その他」を選択して下さい。)信用保証協会への保証申込みはどのようにされていますか。

◆回答結果	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
選択肢	回答数	回答率	回答数	回答率
1.信用保証協会へ直接申し込んでいる	1	0.90%	1	1.35%
2.金融機関を通じて利用	67	60.36%	53	71.62%
その他	43	38.73%	17	22.97%

質問8: 保証協会と金融機関の保証付き融資に関する「責任共有制度」が昨年10月から始まりました。通常の保証付き融資は、金融機関も2割の責任を持つことになった制度ですが、知っていましたか。

◆回答結果	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
選択肢	回答数	回答率	回答数	回答率
1.はい	59	53.15%	33	44.59%
2.いいえ	52	46.84%	40	54.05%

質問9: 保証協会から保証承認を得た後、「責任共有制度」を理由に融資を断ることは、金融庁から「不適切な対応」とされています。不適切な対応はありましたか。

◆回答結果	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
選択肢	回答数	回答率	回答数	回答率
1.はい	2	1.80%	1	1.35%

質問10:質問9で「はい」とした方に、その具体的な内容とよろしければ金融機関名をお知らせ下さい。(新規または追加の融資が断られた。借り換えが出来なくなった。等)

記入回答なし

回答記入 1 (略)

質問11:「セーフティネット保証制度」(業況の悪化している業種や金融機関の経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整取引先等により、経営の安定に支障を生じている中小企業者について、保証限度額の別枠化等を行う制度)のことはご存じでしたか。

◆回答結果

選択肢	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1.はい	63	56.75%	30	40.54%
2.いいえ	48	43.24%	43	58.11%

質問12:現在、「セーフティネット保証制度」を利用していますか。

◆回答結果

選択肢	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1.利用している	5	4.50%	6	8.11%
2.利用していない	103	92.79%	59	79.73%

質問13:11月中旬以降の貴社の業況について、とりわけ大きな変化がありましたか。

◆回答結果

選択肢	今回の回答(12/25ㄨ切分)		前回の回答(11/11ㄨ切分)	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1.大きな変化があった	18	16.21%	17	22.97%
2.多少変化した	49	44.14%	36	48.65%
3.普段とあまり変わらない	44	39.63%	20	27.03%

質問14:質問13で「大きな変化…」 「多少変化…」とした方に、具体的な変化の内容とその要因と思われること、また、今の状況を乗り切るためには今後どのような対応が必要と思うか、ご回答下さい。

◆投票者の詳細

回答

- 内容:昨年と比較して多少の売上ダウン。■対応:基本に戻る
- 内容:原油価格の下落に伴い、販売価格も下落。あまりの下落さに支払資金がショートしています。
- 内容:仕事量の減産と人員計画の変更(削減)を予告されている。◇要因:生産性の良い所への集約化計画もあがっている。■対応:当社ではISOの品質と環境マネジメントの認証は受けているが、更に安全品質マネジメントシステムの取り組みも急務と考えている。会社全体の信用と信頼アップに全力をあげて取り組んでいる。
- 対応:新規のお客様の獲得。
- 対応:社員に厳しい現状であることを腑に落としてもらい、全社一丸になって取組むことが必要。
- 内容:越冬運転資金が必要になった。
- 内容:忘年会の予約キャンセルが少し出た。◇要因:会社の業績が急に悪くなったとのこと
- 内容:急速な受注減。◇要因:得意先の外注引き締めによる
- 内容:売上の大幅減。■対応:経費の見直し ボーナス削減 新規顧客開拓
- 内容:売上が下がった
- 内容:売上が前年を下回るようになって来た。特に、自社ブランドでの落ち込みが大きい。大手ブランドのOEMなどは、前年並みか若干下振れ(前年比95%)程度だが、自社ブランドは急激なダウン(前年比80%)となっている。
- 内容:長期にわたって、受託開発を行っていた物件の納入が終わり、売り上げ、利益ともに大きく増加した。ただし、2009年度については今のところ大きな物件は見えていない。
- 内容:受注量が減少してきました。◇要因:お客様の補修や設備投資に対する考え方も引き締め方向にあります。
- 対応:お客様からの情報をいただくようにして、提案を積み重ねていく動きを続けることが必要と感じています。
- 内容:売り上げの減少、◇要因:景気の悪化の影響、■対応:コストダウン、品質の向上、新製品の開発
- 内容:売上の減少。■対応:公共事業の積極発注による雇用安定。
- 内容:受注の減少、金融不安からする設備投資の減少
- 内容:売り上げ、受注とも少し上向きだったが、急に悪化してきた。■対策:経費のさらなる見直しと、新規取引先へのセールス活動。

- 内容:売り上げ減少。◇要因:需要の縮小。
- 内容:お客様が自動車ローンやリースの申し込みで与信が明らかに通り難くなった。こうしたことは自動車販売数の減少にかなりの影響を及ぼしているはずである。
- 内容:工事の受注減少(民間等の設備投資の減少) ◇要因:発注企業の業績の悪化 ■対応:思案中
- 内容:補償縮小による保険料負担軽減
- 内容:12月の売上増大の反動にて1~3月の大幅な売上減少、大幅利率の低下。◇要因:住宅減税打ち切りによる駆け込み需要とその後延長決定遅すぎる。■対応:人員の減少にて
- 内容:仕事量が減った。◇要因:製造業の稼働が悪くなった。■対応:当社の持っている技術で何が出来るか考え中。
- 内容:これから変化する
- 内容:市場の販売状況非常に悪い。◇要因:生協中心の製造卸をしているが、生協の売り上げ悪化。■対応:新市場の開拓。
- 内容:売上、利益の減少。◇要因:支払い渋り、値引き、…得意先も厳しいらしい。■対応:他社との技術力の違いをアピールして値引きされない状況を確認する。
- 内容:売上の減少、来店客の減少。◇要因:サブプライム以降の経済状況が原因と思われる。■対応:早急の対策方法を考えている。消費低下に対応したもの。
- 内容:売上減少 ◇要因:景気後退 ■対策:販売強化
- 内容:プロジェクトチーム(民間の工事)から、工事の企画見直し ◇要因:金融機関から融資の減少によるもの ■対応:もう一度企画の練り直し
- 内容:売上20~30%ダウン ◇要因:派遣切り ■対応:まだ未定
- 内容:財布の紐が固くなった ◇要因:景気後退から ■対応:サービス内容の見直し、割安感と得点付きサービスの開発
- 内容:減収減益 ◇要因:競争激化 ■対応:得意分野への増大
- 内容:仕事が少なくなった ◇要因:経営姿勢が変わった
- 内容:売上ダウン ◇要因:顧客が購入を控える ■対応:?
- 内容:キャンセル等の発生 ◇要因:設備投資の延期
- 内容:世界経済の不況 ◇要因:サブプライム問題が大きいと思います ■対応:安い原料の仕入
- 内容:リストラ質問等が増えました ◇要因:景況感の悪化 ■対応:相談、指導体制の強化。社員教育サービス、ES向上のコンサルティングの充実
- 内容:人員削減の相談が激増した ◇要因:企業の受注量の激減 ■対応:適切なアドバイスをしていく
- 内容:土木関係の受注が減った ◇要因:公共事業の削減
- 内容:売上が7%ダウンした ◇要因:公共事業の減少 ■対応:経費節約に努めて赤字にならないように努力する
- 内容:売上の減少 ◇要因:需要の減少 ■対応:新商品分野開発
- 内容:客先が会社を休止すると言ってこられた ◇要因:政府の方針 ■対応:新たな営業を展開する
- 内容:仕事量の減少 ◇要因:景気 ■対応:営業の強化
- 内容:設備投資がペンディングとなった ◇要因:景気の悪化、設備しても売れない等 ■対応:気長に待つこと
- 内容:保証別枠80%と言っているが、現状は活かされていない。◇要因:保証協会は政府が言っていることをどのように理解しているか分からない。 ■対応:上記の件は多くの人から聞くが、政府での対策が信保でやっていないのが問題だ。
- 内容:売上単価がかなり下がった ●要因:先行き不安のため、買い控えや我慢をしているため ●対応:単価が下がることを前提とした商品開発をしていく
- 内容:大幅な受注減 ■対応:リストラ、社員を休ませる
- 内容:納入先の人員の削減 ◇要因:自動車・半導体や主力産業の減退 ■対応:営業努力
- 内容:売上が伸びない ◇要因:世の中不況風が吹き出した ■対応:頑張るしかない
- 内容:売上の減少、利益率の低下 ◇要因:業界全体の仕事量の激減 ■対応:営業活動に力を入れる。リストラ
- 内容:売上が減少 ◇要因:建築戸数の減少と価格低下 ■対応:新規開拓と一軒の顧客の売上を上げる
- 内容:決算書をチェックされた
- 内容:売上の減少 ■対応:営業による売上拡大をめざす
- 内容:発注の半年間延期 ◇要因:自動車メーカーの状況により影響 ■対応:業種を問わず設備を計画している客先を探し営業する
- 内容:仕事量の減少 ◇要因:国内経済の原則 ■対応:無駄を除き我慢
- 内容:売上の減少・10%近く・食品原料価格高騰 ◇要因:食の安全性、流通の変化 ■対応:地域の特性を活かした仕組みづくり
- 内容:売上が減少した ◇要因:受注工事の減少

●内容:大ロットの受注あり ◇要因:営業努力(新規顧客の新商品) ■対応:継続できればありがたい

質問15:最後に、今回の一連の経済問題に関して「緊急経済対策」として国や自治体に対して要望したいことがあれば、ご記入下さい。

◆投票者の詳細

回答

- しっかりしてほしい
- 現状の根本的な原因に対する改善策が重要と考える。ただ不況ばかりを訴えるマスコミ等の報道の仕方は民間の不安をあおるだけで悪循環ではないか。これからどうすれば生活コストが下がるか等、目先の財源対策もいいが長期的な判断で対応を考えてほしいと思う。
- 返済負担が減るような措置をとってほしい。(条件変更しても1年後には融資が受けられるとか。)(今、融資を受けて10年の借り換えができるとか)
- 麻生さんはいい対策をしてくれたと思う。
- もっと思い切った金融政策が必要。
- 環境に関する財政出動を期待します。
- このような時に政府・行政は無力だと思います。民間企業の努力や市民の知恵にまかせて、構造改革に力を注ぎ、いち早く財政を立て直すことが肝要だと思います。
- 個人消費が拡大する安心できる政策を考えて欲しい
- 金融危機に端を発する急激な円高は、世界の投機マネーが原油・穀物から円に向かっていると感じられます。实体经济に即した政策的な為替レートの固定化を求めます。質問9の回答は融資を受けていないので無回答に変更してください
- 回答にはならないと思いますが、思っていること。財源をどうのこうのと言う前に、今こそ明治維新並みの政治・行政・霞ヶ関の改革を断行して、減税と各種負担の軽減、そして保障の拡充を行い内需の喚起を図る。(外需はまず望めないと思われる) また、日本の伝統・文化・良さを見直すべきと思う。
- 雇用の確保を、大手企業へは強く要望すべきです。最悪リストラをするのであれば、社名の公表はもちろんですが、経営者の経営責任を明確にするべきである。例えば、トヨタの役員報酬は平均1億円だと言われていますが、その金額の半分を返上するとか、自分達のためのゴルフ大会(in ハワイ)を中止するとか…etc.
- 今後は、この金融危機から始まった实体经济の落ち込みが地方に蔓延してくることが考えられる。政府は、遅滞なく必要な対策は順次打ってほしい
- 担保やそれに代わるものの提供を求める制度は廃止。
- 早急に景気回復の抜本的対策案を示してほしい！
- 公共事業の積極発注。新規事業や市場創出に関する強力な支援と手続きの緩和。マスコミのニュースネタが暗すぎる。消費者心理が冷え込まないように、良いことも多く取り上げるべき。
- 金利のみの支払いで、優良先にしてあげないと存続できない企業が増加但し、後継者の有無、戦略の有無が条件としてあげておく事。中小企業のM&Aの促進事業の強化
- 資本金1000万円以下の法人や、自営業者の現在の借金を、全額国が負担してほしい。そうしたところで、国際協調のための20兆円などよりも遥かに少ない負担ですむはずだろう。そのことにより、中小企業が新たな設備投資が行えるようになり、多くの国民の収入が安定し、国内需要が増えるはず。
- 法令改正(改悪?)や環境対応によって設備や対策に係る費用に対する免税処置や融資への助成を早急に実施して欲しい。法令の交布された案件は実施については待った無しであるがその対応に係る負担に対して助成処置は無いに等しいのが現状である。法令の変更が無ければまだ使える設備を廃棄して新しい設備を設置する費用負担に中小零細企業がなんの影響も無く対応できる今の時節ではない事は明らかであるはず。
- 必要な公共投資は発注して欲しい
- 駆け込み需要とその反動は大きすぎるので、逆に大変困る、簡単すぎる、バカな政策と知ること。
- 公共事業を中心にお金を回転して欲しい。
- 小規模企業に重点を置いた金融対策を進めて欲しい
- 景気回復のための長期的見込みのある政策立案実行
- 低金利での資金融資への対応
- 景気対策と雇用対策＝景気対策:循環型経済に向けた政策、雇用対策:派遣対応は自治体で一時(3ヶ月ぐらい)雇用し、農業・福祉などへ流動化を進める
- 国、自治体に言っても無理
- 政府主導の建設プロジェクトを掲げ、税金で国土改革をして民間に金を回す。例えば少子化により小・中・高の校舎建て直しを全国一斉にするとか！！
- 国や自治体の無策。自己対策。
- 特にない
- 条件を設けずに借入が出来るように
- 借入金の0%金利を希望します。経営改善のために不動産売却の無税化
- 現状を理解しないままのバラ撒きは止めるべき！公共事業はいらない！税金を正しく使って欲しい！

- 雇用対策の充実、「中小企業にとって使いやすく、実効性がある制度」を望みます
- 大手企業が優遇され、我々小企業が逆に切り捨てられていると思う。
- 中小企業への支援
- まず公共事業をアップ、早急に具体策、公務員の給与減額、民間と痛み分け、民間有っての公務員がポイント
- 国、政治が全ての点についてレベルアップして欲しい。
- 円高の貸し渋り対策
- 少なくとも路上生活者が増えないよう配慮してほしい。
- 内需喚起のため、期限付き商品券を無差別に給付
- 景気の回復
- 無責任な国、自治体に頼ってどうするの！！自社の強みをどこで生かせるか、他社に出来ないことをするのが商売。
- 国が決めても信保でストップでは中小企業は生きられないので大変なことだ！
- 国民の不安を少しでも和らげる政策を1日でも早く実行して欲しい。
- どんな対策であれスピードをもってやって欲しい。来年なんて言っていないで1日でも早く対応して欲しい。
- 取れるところから取ればいいと言う増税ありきの政策は止めて、特殊法人の無駄、特別会計と一般会計の一本化等、ゆがんだ構造の改革から取り組むべきだ。
- 消費を促す、経済を元に戻す
- もっと融資枠を増やして欲しい
- 雇用の安定を図る。地域の安定を図る。
- 融資決済のスピード
- 年金制度しっかりして欲しい
- 別にありません。今回を契機に自社の財務体質の強化、社員教育の必要を改めて感じました。
- 当面の資金手当により、再生可能な企業を助ける必要がある。
- 基本的に国や自治体に責任がないと思うが、現経済状況を生んだマネーゲームに関わる法を見直して欲しい。
- ①経営計画(指針書)作成に対する融資の優遇。②経営計画作成指導料(税理士・中小企業診断士)
- 中小企業の本当の現状を知ってもらい、有効な法制度を整備して欲しい。
- 景気回復に全力を！
- 聞いてみて下さい